

缶・ビン・ペットボトル再資源化工場 リサイクル・プラザJB

飲料空容器の循環型産業の構築を実現するために2003年5月に設立したリサイクル・プラザJB。年間約7,600tの缶・ビン・ペットボトルのリサイクルを実施しています。リサイクルの様子をご覧いただける工場見学も実施しており、年間約1,300人の皆様にお越しいただいています。



工場外観



工場見学の様子

空容器の入っていたポリ袋を輪留めにリサイクル

缶・ビン・ペットボトルが入っていたポリ袋も、無駄にすることなくリサイクルしています。リサイクル・プラザJBは使用済みポリ袋を圧縮加工した後、株式会社三興様に搬入。輪留めなどのリサイクル製品になっています。この輪留めは、ルートセールスが使用するトラックでも使用されています。



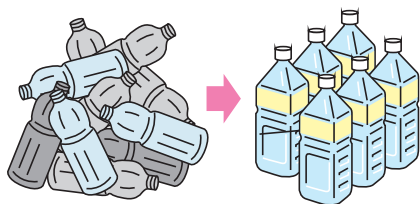
ポリ袋をリサイクルした輪留め



ルートセールスの車輦にリサイクル輪留めを使用(高崎支店)

ペットボトルからペットボトルへリサイクル

リサイクル・プラザJBのリサイクルフローを一部変更し、2016年度よりペトリファインテクノロジー株式会社様への搬入を開始しました。こちらでは、ペットボトルを化学的に分解してPET原料に戻し、再びPET樹脂を作る方法(PRT方式)により、ペットボトルからペットボトルに再生しています。ジャパンビバレッジが回収したペットボトルがまたペットボトルに生まれ変わる「水平リサイクル」が実現しています。



ペットボトルからペットボトルへの処理の流れ
(ペトリファインテクノロジー株式会社様資料)